

総合 発展 計画	基本目標	I 活力あるしまね
	政策名	2 自然が育む資源を活かした産業の振興
	施策名	1 売れる農林水産品・加工品づくり 2 県産品の販路開拓・拡大の支援 3 農林水産業の担い手の確保・育成
事務事業名		将来の農林水産業を支える技術開発プロジェクト
<p>1 趣旨</p> <p>農林水産業において、従事者の高齢化・減少に伴う生産基盤の脆弱化が進む中、安全で信頼のおける農林水産物の安定供給をはじめとして、農林水産業の有する様々な役割や機能を発揮することが喫緊の課題となっている。</p> <p>また、少子・高齢化に伴う消費者動向の変化や、地球温暖化・資源エネルギー問題に対応した新品種育成や省力・省エネ技術開発といった取り組みを一層進めるとともに、後継者が積極的に参入する魅力ある農林水産業、強い農林水産業を実現する技術開発の取り組みを進めることは、農山漁村の後継者確保も期待でき、地方創生や定住の観点からも重要である。</p> <p>このような中、農林水産業が魅力ある産業に生まれ変わるには、ニーズに即した研究開発をより積極的に展開していくとともに、得られた研究成果を速やかに現場に移転する取り組みを強化していく必要がある。</p> <p>そこで、将来の農林水産業を支えるために必要な研究開発に重点的に取り組み、本県農林水産業の発展に資するとともに、これらを実現するため、行政や普及、農林水産業関係団体や産学官等との連携をより強化し、早期の現場普及に取り組む。</p>		
<p>2 事業概要</p> <p>本県の農林水産業にとって最大の課題である「担い手不足(高齢化)」と「産業としての脆弱さ」を克服することを目的とし、1) 競争力強化のための新たな特産資源の創出、2) 環境保全と地域内資源の循環利用による地域産業への貢献をテーマに取り組み、各プロジェクトにおいて成果が得られつつあるところである。今後それぞれの技術を完成させ、早急な現場移転を進めていく。</p> <p>【将来の農林水産業を支える技術開発プロジェクト】</p> <p>① 島根の将来を支える商品づくりプロジェクト ～ 次世代の“島根ブランド”の主力となる商品群の開発 ～</p> <p>② 自然と共生する有機農業推進プロジェクト ～ 環境負荷軽減と高付加価値化を両立する新たな農業体系の確立 ～</p> <p>③ 「島根のバイオマス資源」循環活用プロジェクト(産廃税充当事業) ～ 地域に必要なエネルギー源の地域内調達と循環利用 ～</p> <p>④ 宍道湖・中海再生プロジェクト ～ 物理環境の変化の解明と水産資源の安定的漁獲の実現 ～</p>		
3 事業実施主体 県		
4 予算額 51,927千円(うち11,513千円は産廃税充当事業)		